

10月23日のウクライナ情報

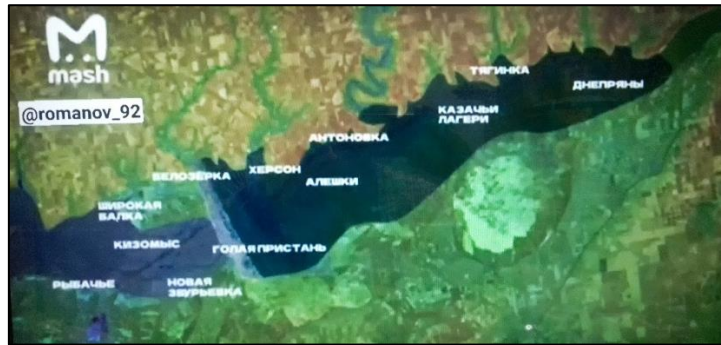
安齋育郎

●カコフカ水力発電所をめぐるうわさ(2022年10月21日)

ウクライナ軍のカコフカ水力発電所への攻撃が本格化しそうな動きです。それで下流のヘルソンの人々を避難させています。これがもし起こったら、大洪水になり、ザポロージヤ原発の冷却システムもやられるらしい。

ゼレンスキー大統領は、ロシア軍がやると言っているらしい。

<https://twitter.com/Jano661/status/1583400586523078656?s=20&t=mbMFV Ek5891-qEyhJdhQ>



●フランスの戦場記者の気づき(2022年10月21日)

「フランスの同胞は、自分たちがドネツクとルガンスクの市民に対するテロ攻撃を支援していることに気づいていない」

<https://twitter.com/2Hardmap2022/status/1582648866268418049?t=dZuqFImblCzvC0UHQpB0xA&s=09>



●ドネツク在住の男性、ウクライナ軍による砲撃の影響を語る(2022年10月20日)

<https://twitter.com/2Hardmap2022/status/1583017071193247744?t=9btl-PGOPRm3unEso03YxA&s=09>



●自宅をウクライナ軍に破壊されたヘルソン州の女性 ゼレンスキーに投票したことを後悔(2022年10月20日)

<https://twitter.com/2Hardmap2022/status/1583239609529798657?t=E19rleJFXMm8KzrRh0edZQ&s=09>



●ドネツク・ミロノフスクの寄宿学校にウクライナからの砲撃(2022年10月21日)

<https://twitter.com/2Hardmap2022/status/1583265712940126208?t=JwsDeB2q4EC PVwHIfxj Q&s=09>



●ウクライナはこの冬を越せるか(2022年10月13日)

リビウの市長は「十分効果のある暖め方を準備する」と約束したが…。

<https://twitter.com/i/status/1580468331059945472>



●ハンター・バイデンとウクライナのエボラ研究(2022年10月21日)

アメリカのジョー・バイデン大統領の息子ハンター・バイデンがウクライナの生物化学研究に資金を提供していたことが暴露された。

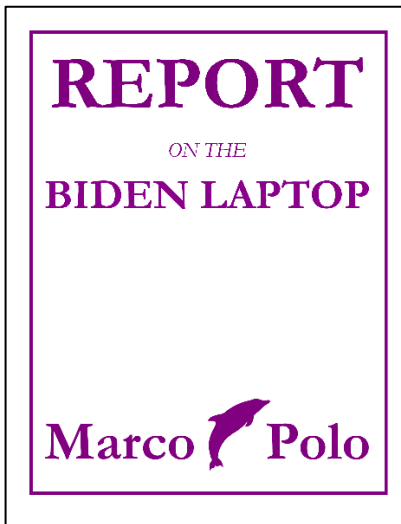
ロシアの将軍は、ジョー・バイデン大統領の息子ハンターが、ウクライナのバイオラボでエボラ研究に資金を提供していると非難した。

7月7日の記者会見で、イゴール・キリロフ中将は、ハンターとペンタゴンの請負業者であるメタビオタを結びつける文書を発見したと主張した。



●ついでに、ハンター・バイデンのラップトップ解明の件(2022年10月20日)

ハンター・バイデンのラップトップに記録された情報の報告書が出来、昨日、アメリカのすべての上院議員、下院議員に郵送されました。彼らはそれに署名しなければならず、それは「公式に知らされた」ことを意味します。459件の州法および連邦法に違反する事案が記録されています。



バイデンのノートパソコンに関する報告書

この悪名高いデバイスには、少なくとも459件の州法および連邦法に対する違反が記録されています。

過去13ヶ月間、マルコ・ポーロは、汚職と脅迫を暴露することに専念する全米の6人の男性からなる非営利の研究グループで、バイデンラップトップとそこにある犯罪に関する包括的な報告書を書き続けてきました。私たちの動機と予算は透明であり、何千人ものアメリカ人がその制作に資金を提供しました。私たちは組織や企業の支援を求めたり受けたりしたことはありません。私たちは様々な理由で遅れましたが、3万5千ドルの予算不足で書類を完成させました。

そして、ついに『報告書』が完成した。バイデンラップトップには、ハンターのアーキミア・アカデミーの同級生からホワイトハウスの現職員まで、すべての関係者が含まれています。

630ページ。脚注は2,020個。最大の焦点であるビジネス関連犯罪を中心に、きれいにセクション分けされています。現職の米国ファーストファミリーに対するデジタル大腸内視鏡検査としては、過去最深度であると思われる。

この報告書のファイルサイズ(960MB)は、iTunesの映画1本分に相当します。13ヶ月のプロジェクト期間を経て、高解像度(~350dpi)を維持したいという私たちの思いは、ご理解いただけると幸いです。

※参考資料:下の事実を思い起こそう。

こんなこと、やるかなあ？

バイデン副大統領は、2014年、ハンター・バイデンをウクライナ最大級の天然ガス会社プリスマ・ホールディングスの取締役に押し込む。

やがて同社は脱税や収賄などの不正疑惑でウクライナ検察当局の捜査対象に。

2015年、バイデン副大統領はポロシェンコ大統領にプリスマ・ホールディングス捜査担当のヴィクトル・ショーキン検事総長の解任を要求。解任しないなら10億ドルの融資を撤回すると迫り、検事総長を解任。



ついでに次の元ニューヨーク市長のジュリアーノの映像も見ますか。

<https://twitter.com/i/status/1581808195244212224>

「ジョー・バイデンは副大統領として訪中した際、中国が尖閣諸島に軍事的圧力を強めることを許す引き換えに息子の投資会社に 10 億ドルの出資を受けていた！」



ウクライナに一度も姿を見せることなく
1400万ドルもの報酬が支払われた仕事だ。

●欧州議会でマルク・ポテンガ(ベルギー)議員がボレルの発言を非難(2022年10月21日)

欧州連合(EU)外交安全保障上級代表のジョセップ・ボレル氏の差別的発言:「ヨーロッパは庭園で、他はたいていジャングル」に対して、ベルギーのマルク・ポテンガが反論。(英語字幕)

※EU 批判の発言で知られるミック・ウォレス議員(アイルランド)が聞き入っている。

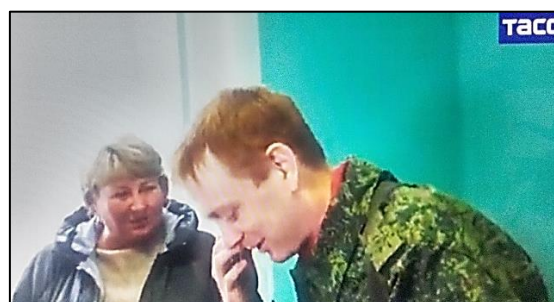
<https://twitter.com/i/status/1583363248132304896>



●DNR のノボアゾフスク市に捕虜帰還(2022年10月21日)

10月17日にウの捕虜生活から解放された DNR と LNR の兵士 14 人が、家族と対面した。母親は数カ月間監禁されていた息子と対面し抱き合って言った。「奇跡です」。

<https://twitter.com/i/status/1583365357053497346>



●DNR の人権担当委員モロゾワ氏の証言(2022 年 10 月 21 日)

モロゾワ氏は「キエフ政権は捕虜になった全ての人を拷問している」と語った。「当然ながら、我々は全ての人にインタビューを行い、釈放された 100%全員が拷問を受けたことを理解しています。彼らのインタビューに基づき、我々は赤十字国際委員会や国連に人権を訴え、さらにロシア連邦の調査委員会と軍事検察庁のすべての所轄官庁に通知しました」と記者団に語った。

<https://twitter.com/tobimono2/status/1583376016193396737?t=5WPmZB1Iaz4xIMlIEt6aw&s=09>



●アメリカ下院共和党の動きに注目(2022 年 10 月 21 日)

今週、共和党が支配する下院がウクライナへの米軍援助の継続に反対する動きを見せる可能性が高いことがわかった。これに対しバイデン政権内部からも含め、最終的には共和党の下院が援助を継続させるだろうと主張する声はいくつか出てきている。



ケヴィン・マッカーシー(共和党議員、アメリカ合衆国下院少数党院内総務)のウクライナの脅威に関する新たな主張は共和党がウクライナに対する支援を終了させる可能性があるものとして、民主党は深刻に受け止めなければならない。

●戦争特派員ユージン・ポッドドゥブニーの証言(2022 年 10 月 21 日)

ウクライナ軍は、北東部ケルソン州での攻撃の試みにおいて、様々な外国の軍用機器を使用したと伝えられている。トルコのキルピ装甲兵員輸送車、イギリスのサクソン、オランダの YPR-765 歩兵戦闘車、ポーランドの AHS クラブ自走榴弾砲、オーストラリアのブッシュマスター装甲車、少なくともアメリカのマックスプロ装甲車などが戦場に投入され。また、ドイツの PzH-2000 ACS、NATO の高射砲、アメリカ製のイギリスと日本の機関銃を搭載したピックアップ、NATO をイメージした装甲を持つポーランド製の T-72 戦車などが使用された。

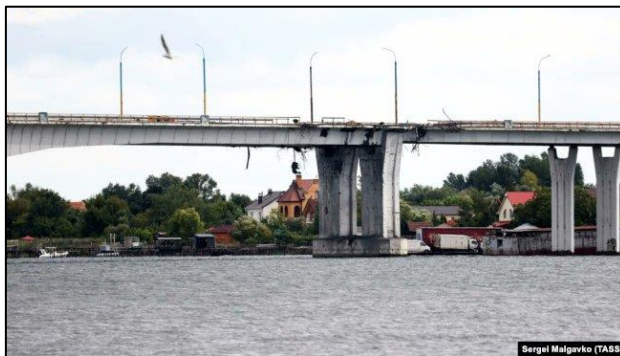
●キエフ地方で停電が始まった(2022 年 10 月 21 日)

キエフ地方国家管理局のクレバはテレグラムでこう書いている。「みんなに訴える。電気をできるだけ使わないようにすることが必要だ。これは誰にでも当てはまることです。不要な電化製品のスイッチを切る。やかんからヒーター、アイロンから洗濯機まで電源を入れなくて」



●ケルソンの橋へのウクライナ軍の攻撃(2022年10月21日)

ウクライナ軍は10月20日の夜、ケルソンのアントノフ橋への攻撃を実施した。これは現地のネット出版社「Most」が報じたもので、当時は橋の近くに作られた歩道をロシア軍や装備が移動していたと思われる。また、ロシア大統領府のキリエンコ副長官とクリミアのアクシヨノフ代表が、砲撃の直前に同地を訪れていた。



●シリアのアサド大統領、4地域編入に祝意(2022年10月21日)

昨日、10月20日、シリアのアサド大統領は、ダマスカスに到着した露代表団に対し「DPR、LPR、ケルソン、ザポリージャの露加盟住民投票成功を祝福」と伝えた。シリアも永年、米英とISILなどその手先に10年に渡り爆撃され、ロシアの宇宙航空軍によりISILを撃滅した経緯がある。

